



吹田市立西山田小学校

ニューウェーブ西山田

令和3年(2021年)1月号

校長 鬼頭 孝雄



新年あけましておめでとうございます。

終業式の日には2学期の振り返っての話をしました。2学期を振り返ると、3～6年生は暑い中、補充授業から始まりました。児童会が主催した「水かけ遊び」、1～4年生の校外学習、そして、全員で参加した運動会や、2クラスで合同でした音楽会などの行事をすることができました。6年生の修学旅行は、あと1日ずれていれば行くことができなかったという、ギリギリのところで行くことができました。子どもたちは、感染予防対策で、ずっとマスクをつけ、手洗いにはげみながらの授業でした。本当に、みんな頑張っていました。

新しい年を迎えるにあたり、「1年の計は元旦にあり。」という言葉を紹介し、目標を立て、そのための計画を作りましょうと話しました。全日本選手権で素晴らしい演技で優勝した羽生選手が、「スケート人生の一番先の最終地点には何が見えているか？」と質問されたとき、「とにかく4回転半(クワッドアクセル)、試合で降りたいです。」と言い切り、「自分の心にウソをつかないのであれば・・・うん、やっぱりそこ(4回転半)にたどり着かないのであれば、今スケートを頑張る理由というか、この社会の中、この世の中で自分の気持ちを押し通してまでトレーニングさせてもらっている理由がなくなっちゃうなって思う。」と答えています。今年度、3回転半(トリプルアクセル)も飛べなくなっている時期があったそうですが、さらに上の4回転半を目標にすると公言し続けていた羽生選手。「自分自身がつかみ取りたい光に対して手を伸ばしたってというような感じ。」と表現しているように、自分の立てた目標に対して精いっぱい向かっている姿が感想を呼ぶのだと思います。



さて、新年どのような目標を立てたでしょうか。私自身は、初心に戻って、学校教育目標である、「考える子、やさしい子、たくましい子」を、今の状況下でどのように実現していけばよいかを、しっかりと考えていく一年にしたいと思いました。新しい年、皆様にとって、素晴らしい年となるように願っております。

